

公益社団法人宇都宮青年会議所
2015年度 第10回 常任理事会議事録

日 時：2015年 10月 13日（木）19：00～21：00

場 所：コンセーレ JCルーム

出席者：

（ 理 事 長 ）	：	
（ 直 前 理 事 長 ）	：	
（ 副 理 事 長 ）	：	澤畑（敬称省略 以下同）、福田（之）、廣田、 中島
（ 専 務 理 事 ）	：	金
（ 監 事 ）	：	篠崎
（ 担 当 常 任 理 事 ）	：	羽石、飯野、鈴木
（ 日 本 J C 委 員 会 特 別 委 員 長 ）	：	
（ 会 員 拡 大 特 別 委 員 会 ）	：	小瀧
（ 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ）	：	
（ 事 務 局 長 ）	：	飯沼
（ 代 理 出 席 ）	：	間島、亀井

1. 開会宣言 <金>（役職名省略 以下同）
2. JCI クリード唱和 <羽石>
3. JCI ミッション並びにJCI ビジョン唱和 <飯野>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <鈴木>
5. 関東地区宣言唱和 <小瀧>
6. 出席者の確認 <飯沼>
7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>
8. 前回議事録の確認 <金>
9. 議題並びに資料の確認 <飯沼>
10. 2015年度理事長挨拶 <澤畑>

まずは、臨時理事会の時にも少し話をしましたが、臨時理事会というものを、急遽あの
ような形で開会せざるをえなかったということは、だれが悪いとか犯人探しをするわけ
でもないし今後もする必要もないのですが、今一度ここにいる執行部というのは、宇都宮J
C150名のチームを、中心となってひっばっていく中枢でありますので、一人ひとりが
そこに至るまで何が足りなかったのか、何がいけなかったのか、もちろん他の誰かではな

く自分自身何が足りなかったのかを、残り2か月半ですけれどももう一度考え直してみてください。まだまだ協議事項も残っています。3クールくらいやっていたのかな、協議、審議に至るまで。臨時理事会を開くということは、ここにいる一人ひとりに問題があったのではないかと考えております。それを今一度みつめなおしていただき、反省して欲しいと思います。個人的に皆さんによく話をすることですが、怒る優しさでもいいうのでしょうか。人が一生懸命にやってきたことに、そりゃ駄目だよというのは本当にいいにくいと思います。ボランティア団体なのに会社の看板を背負って、そんなことをいってわざわざ嫌われたくはないのはよくわかる。それでも、厳しさというものは人を育てるのに一番効果をもたらすので、いってあげる優しさというものをもっと考えてあげられたらと思います。ここは常任理事会というところで、ここにいる常任理事会メンバーは、150人のメンバーの中でも知識と経験を積んでいるのですから、いう優しさ、それはこうすべきだよ、それでは駄目だよという厳しさを持ってほしい。それがゆくゆくは事業の成功となりますので、残り2か月半、しっかりやって欲しいと思います。申しわけない話ですが、理事長が公務のため欠席、太城副理事長も欠席、正副も中々全員揃う事ができないわけですが、これは来年、今後の宇都宮JCのために体を張っていつてくれているからです。来年の中島理事長率いる宇都宮JCが成功するには、もちろんメンバーも動きを進めていきますが、2015年度の理事会構成メンバーがしっかりとバトンを渡してあげないと、スタートダッシュはきれません。バトンをもらう方が上手でも渡す方が下手だとリレーというのは上手くいかない。12月31日までしっかりと走り切って上手くバトンを渡して、中島次年度にバトンを渡してあげましょう。今日も最終最後までよろしく願いいたします。

1 1. 直前理事長挨拶

村上直前理事長欠席のため割愛

1 2. 役員報告

鈴木常任より、15日、宮ハロの出向者会議の出席のお願い

1 3. 協議事項

協一 1 第114回通常総会 開催計画並びに予算(案)について 協議資料に基づき、飯沼事務局長より上程文の読み上げ

<飯野> 総会資料の案内文の体裁の部分で、記、なので、下に以上をつけなければならぬと思いますので訂正をお願いします。

<篠崎> 審議議案の中の、全国大会主管(案)承認の件についてですが、どうなるかわからない状態で、審議を可決した後の手続きについて教えてください。たとえば、関東地区協議会に再度議案をだすとか、そういった手続きにつ

いて教えていただきたいと思います。

<飯沼> その点についてはまだ明確に決まっておりませんので、今後しっかりとつめてまいりたいと思います。

<篠崎> 本年度、私は関東地区協議会に出向しておりますので、会議の日程ですとか調整が必要でしたら事務局等に対応できますので、活用していただければと思います。

<澤畑> 総会の意義というものを、しっかりメンバーにも伝えていただければと思います。

協一〇二 11月 研修例会 開催計画並びに予算(案)について
協議資料に基づき、羽石常任より上程文の読み上げ

<金> 広告費で宇都宮駅構内に広告B1というものがあります、63720円、けっこう新しい試みかと思いますが、宇都宮駅のどこに貼るのですか。

<羽石> 宇都宮駅の緑の窓口の通路に貼る予定です。

<金> けっこうな予算をかけているので、緑の窓口にそれを貼ることでどのような効果があるとお考えでしょうか。

<羽石> できるだけ多くの人々の目につく場所に貼りだしたいと思いがあまして、宇都宮駅内の多くの人数がとおる場所を考えてこちらの場所が最適なのではないかと考えました。

<金> 多分、理事会でも疑問に思う人がでてくることが考えられるので、議案書に資料等を添付してしっかりと準備をしていただきたいと思います。

<間島> 参考資料16番のPR車、宣伝車ですが、レンタカーでしょうか。それとも増淵委員長の会社の車であれば、社名を隠していただきたいのですが。

<羽石> 増淵委員長の会社の車を予定しています。社名を隠してJCと会社の関係性がみえないように対応してまいります。

<鈴木> 事業要綱ですが、自ら行動して成長していく機会に触れるということと、当事者意識の高い人材になる必要があるという部分で、なぜこの2つが必要なのか教えてください。

<羽石> 宇都宮市がこれからも発展していくために、市民協働のまちづくりが1つのキーワードになってくると思います。行政だけに任せずに市民自らが行動していくことが必要になると思いますので、そのきっかけをつくるための例会を構築したいと考えました。その例会に参加していただくことで、

当事者意識の高い人材を育成する一助になればとよいと考えておりますのでこの2つの文言をいれさせていただきました。

<鈴木> そうするとしますと、問題提起といいますか、なぜこの2つが必要なのかという文言があった方がよいと思います。

<亀井> 駐車台数を予備で護国会館前に100台分準備しているということで、駐車場担当の役割が入っていないようですが、外から中に誘導する役回りというのはどのようになっていますか。

<羽石> 会場内外導線図に駐車場案内図がありまして、こちらに各委員会の対応を明記しております。

<金> 当日はコンサーレでは何かやっているのですか。

<羽石> 先ほど確認した時点では特に何も入っていないということは確認がとれています。

<飯野> ポスターに関して、先着1000名参加費無料と明記していますが、見方によってはそれを超えた場合どうなるのかと考える方もいるのではないのでしょうか。

<羽石> 参加費の部分は委員会内で相談して変更等検討いたします。

<小瀧> ブロック向けの案内文ですが、3行目の文章を削除してください。

<鈴木> 駐車場の案内文ですが、さらに詳しく明記した方がよろしいと思います。

<中島> 事業実施にいたる背景から目的をみて、事業内容をみてみるとまったくつながっていないと思います。タイトルが閃く脳が社会を変える、イノベーションを起こす人材、目的、積極的に行動を起こす意識の醸成をはかる。イノベーションを起こす人材は積極的に行動を起こすという方程式は成り立たないと思います。講演内容のシナリオ等を一生懸命明記していただいているのですが、そこを鑑みると何が一番言いたいのか。考え方をえよう、ものを見方をえようということが明記されているわけです。ではこれを聞いた人が、ああこれは行動をおこさなきゃまずいなって、多分思わないですね。この議案のロジックに含まれていない。茂木先生に話してもらう内容はすごく面白そうだと思いますけど、ではそもそも目的の設定はどうなっているのか。内容から入って目的をつくっていますよね。目的がおかしい気がします。そして検証をどうするのか。アンケートをみると、意識改革をテーマにした講演でしたが意識の改革につながりましたか。つながった、つながらない、どちらでもない。つながった、を選んだ方おきかせください、どのようにつながりましたか。多分ここだけで検証するのですよね。これはまったく、行動する意識を高められたかどうかの意識の検証ができないと思います。その辺のところを再度考え直した方がよいと思

ます。けして講師がどうのこうのではありません。せつかくなので、イノベーションをおこす人材というのであればポスターも何かしらの工夫をされるとよいのではないのでしょうか。たとえば講演会、って固くないですか。何か違う文言など、検討していただければと思います。

<亀井> 閃く脳が社会を変える、と議案には明記されていますが、ポスターの方では閃く脳が未来を変える、とございますので統一された方がよいと思います。

<鈴木> たとえばこの講師のものすごいファンがいて、前日から並ぶとか、そのような可能性もなきにしもあらずだと思うし、その辺の会場等の設えも必要になってくると思うので、先着というのが悪いというわけではないのですが、事前申し込みと違って参加人数が読めない部分もありますし、よい部分悪い部分がものすごくあると思うので、先着に関しては委員会でもう少し考えていただければと思います。

<鈴木> 手話席、を設けているのですが、どういった考えでしょうか。

<羽石> 聴覚障害がある方がこの講演会を聞きたいと思った際にどうしても今までは対応できていなかったのもので、手話者の派遣を検討させていただきました。会場の席ですが、どうしても手話となると前すぎると目線が上になってみにくいということがあり、教育会館様の意見を委員会内で話し合っこのレイアウトにさせていただきました。こちらの席ですと目線の高さとなりますのでみにくくないかと思います。

<鈴木> 手話者は舞台の上にいるのですか。

<羽石> はい、舞台の上にあります。

<鈴木> この規模の会場で手話スペースをこちらに置くという場合は、多分、というか絶対にサブモニターで映さないとみえないと思います。手話者を呼ぶイベントでは必ずサブモニターで映しているのもので、その辺も考えてこの位置に席を設けているのであればよいのですが、もう少し検討した方がよいのではないかと思います。

<金> 手話者を呼ぶことは手法としてよいことだと思いますので、チラシにもものせてアピールできるとよいと思います。

<小瀧> フェイスブックですが、一般の方も申し込めるわけですね。時間が7時から10時となっているので、講演会の時間にあわせた方がよいと思います。

<飯野> 駐車場の混雑が予想されますが、誘導棒がなかったり無線がなかったり、備品リストに抜けがあるように思います。また、総務委員会だけで誘導するのも大変かと思うので、もう少し精査された方がよいと思います。

- <金> 著名な講師ですので、セキュリティーの面はどのようになっていますか。
- <羽石> 人の流れを講師の方にはいかないように人員配置を考えております。講演会中のセキュリティーについては会場内にメンバーを配置する等考えております。
- <金> 持ちものチェックなどを考えてみるのもよいと思います。
- <小瀧> 茂木さんの写真を撮るなどはよろしいのでしょうか。
- <羽石> 基本的に撮影は禁止としております。
- <澤畑> 今月審議を迎える内容とは思えません。当日のイメージができていないことを感じます。先着1000名ということにチャレンジすることはよいことですが、それにたいしての対応はどうか。1026名の会場の中に1000名という先着はどうかのでしょうか。誘導も大変です。手話と呼ぶこともよい試みですが、どこに座ってもみることができるなど、考えられないでしょうか。全体的に現場イメージができていないです。絶対トラブルがおこりますよ。11月25日というのは連休明けで忙しいです。宇都宮市内で他のイベントがあるとか調べていますか。そういう対応も考えていますか。
- <羽石> そこまで考えられていません。
- <澤畑> ということは理事会でまたもめるわけですよ。これはゼロベースということですよ。もう少し現実をみないと、せつかくのチャレンジがひどいことになりますので、しっかりと考えてください。
- 協一〇三 12月 さよなら例会 開催計画並びに予算(案)について
協議資料に基づき、小瀧特別委員長より上程文の読み上げ
- <羽石> 工夫と効果について、喫煙は席について吸えるということでしょうか。
- <小瀧> 喫煙は可能ですが、総括の部分は吸えない、その後の卒業式では吸えるというようにしています。
- <間島> 参考資料の8で、当日の枠割り分担表で森さんと掛端さんという方がいますが、こちらはどのようになっていますか。
- <小瀧> 本来掛端君は入会していないので、抜いておきます。
- <飯野> 18時に完全退出とありますが、本当に終わらせないといけないのですか。
- <小瀧> ホテル側には19時まで予約はとってあります。

- <金> 前年度の引き継ぎ事項を一つ一つ対応していただければと思います。
- <鈴木> 来賓の対応ですが、時間等しっかり考えていただきたいと思います。
- <中島> オープニングのブラスバンドに関しては無料ですか。
- <小瀧> 無料です。
- <中島> どんな方が演奏するのか、記載された方がよいと思います。エンタメで誰が来るのか等、法令会計で知りたい部分だと思いますので、メール等で知らせていただければと思います。
- <羽石> 総括DVDとありますが、これはいつごろまでに確認ができますか。
- <小瀧> できるかぎり早く確認ができるようにいたします。
- <飯沼> くれぐれも人の名前等、誤字脱字がないようにしてください。
- <鈴木> 資料の不備が多々ありますので、次回理事会までに準備いただければと思います。
- <金> 現状で決まっている部分をこの場では精査できればと思います。
- <間島> 審議対象資料の次第ですが、ずれが目立ちますので修正をお願いします。
- <篠崎> いろんなファンクションがありますが、理事会で必ず意味を問われるので、議案にしっかり反映してください。
- <飯野> 花束贈呈は、贈呈からすべて各委員会であげるということですか。
- <小瀧> 卒業生の所属している委員会であげた方がよいと判断しました。
- <飯沼> テーブルが16席となっていますが足りないと思いますので、もう少しつめてほしいと思います。
- <篠崎> この例会において会費はとるのでしょうか。
- <小瀧> 会費は10000円を考えております。去年は9000円と確認しております。
その後の囲む会はやらない予定です。時間がオーバーすることで会場選定が難しい状態なのでご理解いただきたいと思います。
- <篠崎> 来訪JCからのスピーチはどのくらいとるのですか。
- <小瀧> 現状30分ですが、もう少し調整いたします。

<金> 若いわれらを歌えない方が多いと思うので、考えていただければと思います。

14. 報告依頼事項

報-1 2015年度 年間公式スケジュールについて

<金> ご一読ください。

報-2 2015年度 対外出向者について

<金> ご一読ください。

報-3 会費納入状況について

<金> 妹尾君のみとなっています。

その他

<小瀧> 拡大メンバーは引き続き募集しておりますので、よろしく願いいたします。

15. 監事講評

<篠崎>

総務委員会3名、渉外委員会3名、それぞれ委員長が出席されていますが、12月の着地にむけて、最後まで頑張っていたいただければと思います。本日の案件で、11月研修例会の議案、ある程度の答弁を前回は含めさせていただきましたが、腹まで落ちている状況ではないかと思えます。その中でも澤畑理事長代理からありましたが、立体的に考えるという部分でちょっと足りないとも思いました。人が人だけに、注意しなくてはならないことというのは多数あるかと思えます。たとえばポスターの写真は承諾をえるなかで、どうしても抜けているのは、フェイスブックをたちあげるのであれば、その写真の選定、バナーは承諾をえている、そういったことが抜けていると大きな損害を与えかねないところですので、慎重に十分に注意していただければと思います。そして12月さよなら例会に関しては、例年決まりきったことで本年入会されたメンバーが設営をされるということで、拡大メンバーを経験された方はわかるのですが、議案もわからない、JCもまだ全然わからない、そんな中で計画していかなければならないということは、スタッフの方にどうしてもご苦労かけてしまうところではありますが、拡大委員長というのはそれなりの経験、信頼をえてきていますので、どうか、まとめあげて欲しいと思います。それから、以前私がお話した中で、JCはできるかできないかではない、やるかやらないかという話をしましたが、とある挨拶をきいた中で、もう一つその進化バージョンがありましたので、お教えしたいと思います。できるかできないかではなく、どこまでできるか。どこまでできるか、という風に線引きをしてしまうとそこで達成させてしまうので、その線引きをなくして時間のあるかぎりやり続けていってほしいと思います。残り2か月半となりました。12月の着地に向けて、これからますます挑戦し続けて駆け抜けていってほしいとお願いをさせていただきます。以上で監事講評とさせていただきます。お疲れさまでした。

17. 閉会宣言

<金>

公益社団法人 宇都宮青年会議所
2015年度 第10回常任理事会議事録

議長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成人：総務委員会